

# 全道に共産党の風吹かせよう

## 苫小牧から襟裳岬、日高までキャラバン

北海道中に日本共産党の強い風を吹かせようと、はたやま和也比例候補は、各地で宣伝キャラバンを続けてきました。10月9日から、12日までの4日間、選挙本番には入れない日高路をえりも岬、日勝岬の手前の日高町などで37カ所の街頭演説をしました。東胆振では9区花井泰子候補といっしょの活動でした。日高富川支部は写真右下のようにそろいのユニホームを着た女性とビラ配布隊をそろえて、選挙本番並みの体制でした。演説後、路上対話になり、「年金を引き下げ、子ども手当も削っておいて、消費税を社会保障にまわす？あきれて怒りは通り越して、もうおさまらないよ。共産党は一人でも多く国会に出てほしい」と熱い激励をうけました。



演説後、対話し握手するはたやま、花井両候補



浦河、様似、えりもは激しい雨の中での宣伝でしたが、翌日は天候に恵まれた活動ができました。

5中総幹部会報告を受けて大量宣伝、対話と支持拡大に取り組み、北海道での衆議院議席を必ず勝ち取りましょう



## 10・13「さようなら原発」北海道集会に1万2千人

13日に行われた「さようなら原発」北海道集会に参加した1万2千人(主催者発表)。札幌大通り西8丁目広場は、北見市、函館市など全道各地からの参加者で埋まりました。「入院中だけど、ジッとしていれなくて」という参加者もあり、みんなが今生きる者として、子どもや孫に原発のない安心して暮らせる日本・北海道を残したい」ということで心ひとつになりました。

『即時原発ゼロ』の実現を」の日本共産党の提言を届けて対話し、「日本共産党の議席がのびてこそ「原発ゼロへの道」と訴えましょう。

